



障害年金請求の援助実践と具体的課題

～ ワーカー・医師・元年金事務所職員が語る障害年金請求援助のポイント ～

10年ぶりに改訂された「障害年金請求 援助・実践マニュアル」発刊（中央法規出版）にあわせて、著者の方をお招きし、講演会を開催致します。

社会保険労務士、ソーシャルワーカー、医師、行政職員や施設の相談員の方、その他精神障がいの方々の年金請求支援をされている方には、ぜひ聞いていただきたい内容となっております。

また、滅多に聞けない内容ですので、この機会をお見逃しないように、ぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

日時：平成26年1月19日(日) 9:50～16:00 (9:30受付開始)

場所：広島県健康福祉センター 8階 大会議室

(広島市南区皆実町 1-6-29 TEL082-254-7111)

参加費：3,000円 (当日ご持参ください)

定員：200名 (定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください)

対象者：障害年金請求支援者以外でも、関心がある方であればどなたでも参加できます。

※ 講演では、「**障害年金請求 援助・実践マニュアル**」(中央法規出版)を使用します。お持ちでない方は、参加申込と一緒にご予約いただければ、定価 5,040 円のところ 4,800 円でご購入いただけます (講演会当日に会場でお渡しいたします)。

※ 昼食につきましては、ご希望者には 500 円でご用意させていただきます。

※ 申込は、FAXにてお願い致します。申込締め切りは**平成26年1月7日(火)**です。

主催：社会保障研究会ひろしま

共催：精神障害年金研究会、広島県精神保健福祉士協会、
無年金障害者をなくす会広島

後援：(未定)

『社会保障研究会ひろしま』とは

障害年金や年金制度に限らず、それらを取り巻く社会保障制度全般に関する学習、研究等をするために、社会保険労務士が中心となり発足致しました。

講演会 スケジュール

- 9:50 ～ 10:00 開会挨拶
- 10:00 ～ 11:45 「ソーシャルワーカーと障害年金請求援助」
講師：駒木野病院 精神保健福祉士 山口多希代 先生
- 11:45 ～ 12:45 (昼休憩)
- 12:45 ～ 14:00 「障害年金診断書の書き方と留意点」
講師：愛媛生協病院 精神科医 金澤 彰 先生
- 14:00 ～ 14:15 (休憩)
- 14:15 ～ 15:50 「援助実践マニュアルの出版に致る経緯と本書の利用の仕方」
講師：精神障害年金研究会 代表 元年金事務所職員 高橋 芳樹 先生
- 15:50 ～ 16:00 閉会挨拶

講師のご紹介

山口 多希代

東京の駒木野病院勤務。ソーシャルワーク課課長を経て、現在サービスステーション駒木野室長。
職場で年金相談にあたる他、東京精神保健福祉士協会で障害年金研修会の企画・運営を担当したり、ワーカーの自主勉強会を主催している。また、東京・無年金障害者をなくす会役員、精神障害年金研究会メンバーでもあり、近隣の家族会や東京・無年金障害者をなくす会で年金相談等も行っている。

「SW とはどんなことをする人と聞かれることがあります。私は SW とは、本人や家族の話を聞き生活をよく知った上で、障害者の人たちが自分らしい生活を送っていくことができるように、具体的で現実的な対処をしていく人だと思います。そして自分は、生活の問題を本人とともに自分の頭で考えながら行動していく、そういう存在でありたいと思います。そうした立場から、障害年金の請求援助をワーカーとしてどのように行っていくのか、それを具体的にお話ししたいと思います。」

金澤 彰

昭和 12 年生まれ。76 歳。昭和 38 年 4 月に医師免許を取得。
昭和 50 年 4 月、愛媛大学医学部設置に伴い精神科に赴任。昭和 51 年から現在まで 37 年間にわたり障害年金の認定審査に携わっている。
知的障害や精神障害の人たちの所得保障、社会参加の援助のために、障害年金を役立てたいと考え、これまでに 3 回、障害年金の解説書を出版している。

今回は、「診断書の目的は障害者の所得保障である」という考え方から、長年の認定審査医員の経験を踏まえて、皆様に診断書の書き方などの留意点を中心に話をしたいと思います。

私は、障害年金を受給するようになった後の「障害者の暮らし方」が気になっています。経済的保障は必要ですが、それはあくまで援助の一方法だと思います。受給者の人生の問題は別個に残存しているのであって、医療者はその課題にこそ立ち向かうべきだと思うのです。障害年金の診断書を書いたら終わりではなく、出発点だと思います。こうした視点も少しお話しするつもりです。

高橋 芳樹

昭和 22 年大阪の東成区生まれ。66 歳。精神障害年金研究会代表。

昭和 41 年の 7 月に大阪の福島社会保険事務所に初めて勤務、以後定年まで社会保険事務所に勤務。在職中は、少数派の労働組合運動の活動に参加、大阪で年金講師団を結成したり、学生無年金障害運動や障害年金の改善運動に参加しながら、無年金障害者の実態調査や障害認定方法の改善など実践的な立場から障害年金の研究を行ってきた。現在、精神障害年金研究会の代表。

年金窓口の経験と編集者の立場から、本書の利用の仕方をお話します。

私は、援助実践マニュアルの出版に到る経過と、本書の利用の仕方などを具体的にお話したいと思います。そして本書執筆の隠れたテーマ等も触れるつもりです。隠れたテーマとは何かを期待をしておいてください。また、障害年金のあり方を老後年金も含め年金制度全体の中で位置づけ、皆さんと共によりよい年金とはどのようなものなのかも考えたいと思います。

【交通のご案内】

▼市内電車

広島駅から比治山線「南区役所前」下車

▼バス

【広島電鉄】

広島駅から大学病院行き、

西広島駅から大学病院・旭町行きで「比治山橋」

または「皆実町一丁目」下車。横川駅から仁保方面行きで「皆実町一丁目」下車

【広島バス】

広島駅から旭町行きで「比治山橋」下車。横川駅から大学病院行きで「比治山橋」

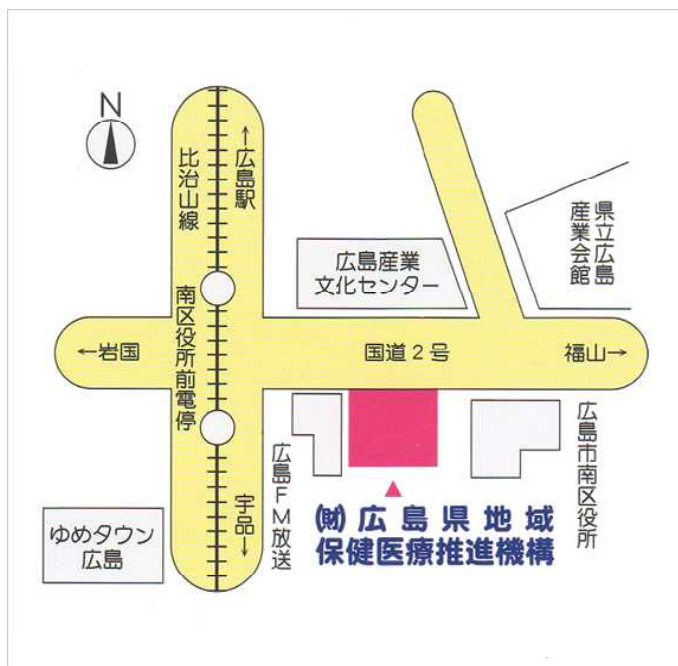
または「皆実町一丁目」下車

▼駐車場

車高制限 155cm30 台と台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用いただくか、近隣の有料駐車場を利用下さい。

(広島産業文化センター内駐車場は、最初の 3 時間までが時間 300 円、その後 1 時間 200 円です)

※ 敷地内（地上）駐車は禁止されていますので、ご注意ください。



2014/1/19 『障害年金請求の援助実践と具体的課題

～ ワーカー・医師・元年金事務所職員が語る障害年金請求援助のポイント ～』

参加申込書

平成 年 月 日

フリガナ 氏名			
住所			
電話番号			(参加費 3,000円)
図書予約 (4,800円)	要 ・ 不要 (どちらかに○をしてください)	弁当予約 (500円)	要 ・ 不要 (どちらかに○をしてください)

※ 参加費等は、講演会当日に徴収させていただきます。

※ 個人情報につきましては、本研修における連絡のみに使用させていただきます。

研修内容について質問したいこと等があればご記入ください。

締め切り 平成26年1月7日(火)

FAX番号 (082) 542-6045

(社会保障研究会ひろしま 事務局 宛)